



2026年3月期 決算補足説明資料

株式会社 中広 (CHUCO CO.,LTD.)

証券コード：2139

東証スタンダード市場・名証プレミアム市場

会社概要・沿革

上場会社名	株式会社 中広
コード番号	2139 (上場取引所 東 名)
代表者	代表取締役会長 後藤一俊 代表取締役社長 大島 齊
資本金	4億430万円
従業員数	412名 (2026年3月末現在) グループ全体 730名
事業内容	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業 イベント・セミナー事業 通信販売事業、VC事業
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」
社是	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除
社訓	飲水不忘掘井人
本社	岐阜本社 : 岐阜市東興町27 名古屋本社 : 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋24階
連結子会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社中広ワークイン 株式会社関西ぱど 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイピーエス
加盟団体	日本地域広告会社協会 (JLAA)

■ 沿革

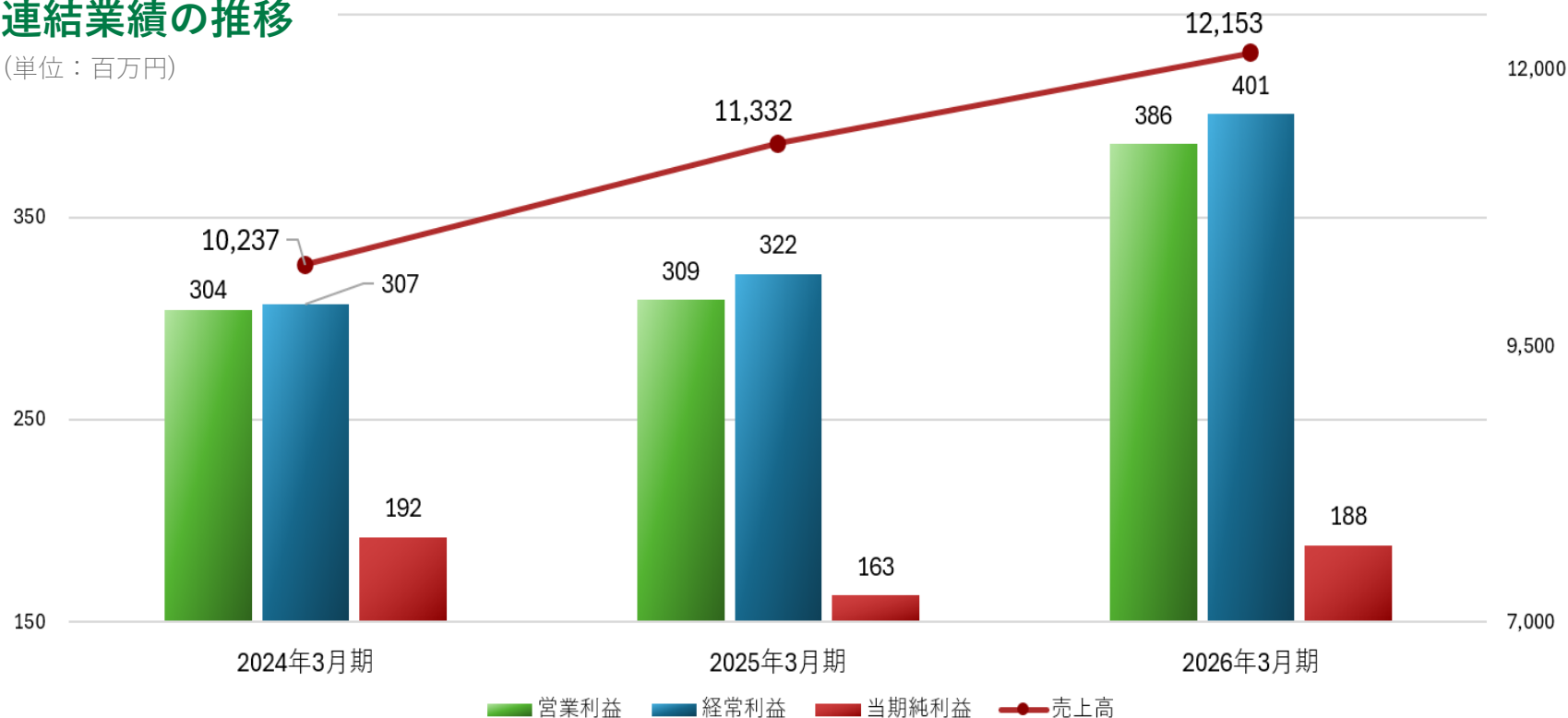
- 1978年 ● **設立 (広告代理店事業)**
- 1983年 ● 求人情報紙事業開始
- 1993年 ● イベントセミナー事業開始
- 1994年 ● **フリーマガジン事業開始**
- 1998年 ● インターネット通販事業開始
- 2007年 ● **名証セントレックスに上場**
- 2008年 ● 「講演会インフォ」公式サイト開始
- 2010年 ● ポータルサイト「フリモ」開始
- 2012年 ● VC (ボランタリー・チェーン) 事業開始
名証二部に市場変更
- 2014年 ● 東証二部に上場
- 2015年 ● **東証一部・名証一部に市場変更**
- 2018年 ● 創立40周年
- 2020年 ● 名古屋本社を設置 (二本社制)
- 2021年 ● クーポンアプリ「フリモ」開始
フリーマガジン月間発行部数 1,000万部突破
- 2022年 ● **東証スタンダード市場、名証プレミアム市場に変更**
株式会社中広メディアソリューションズ、株式会社
ケイ・クリエイト、株式会社ケイピーエスを子会社化
- 2023年 ● 株式会社関西ぱどを子会社化
- 2024年 ● **連結売上100億円突破、フリーマガジン事業30周年**
- 2025年 ● 株式会社中広ワークインを子会社化

2026年3月期(第48期)経営成績等の概況ハイライト(1)

- ① 5期連続増収／5期連続増益（営業利益・経常利益）
- ② 連結売上高は121億53百万円、**過去最高を更新**
- ③ 連結経常利益は9期ぶりに4億円を突破

連結業績の推移

(単位：百万円)



2026年3月期(第48期)経営成績等の概況ハイライト(2)

- DXとAIの活用：ハイブリッド広告の要である基幹システムC-Brain「CAI-解-」にて広告情報の一元化/検索対応を実現



OCR(文字認識)

検索タグ自動付与

反響数値付与

105,123原稿

※'26年3月現在

感覚的に検索
提案活用

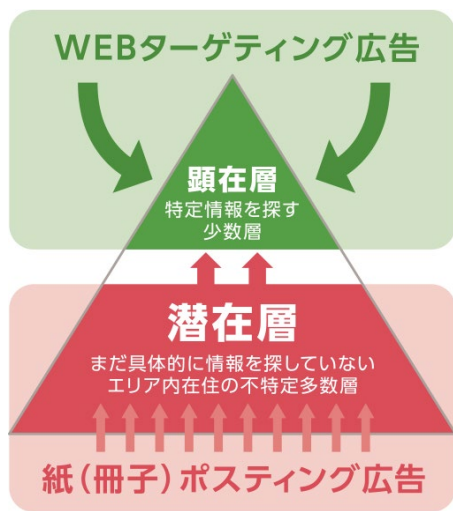


顧客管理をおこなう基幹システムC-Brainに2025年よりAIシステム『CAI-解-』を実装。クリエイティブコストを30%に圧縮した原稿自動生成機能に加え、2026年にはさらに、全国の情報誌に掲載された原稿ビジュアルの一元管理化に成功。「CAI-広告原稿サーチ-」と呼称する当機能にて、AIによりOCRと推測タグ付与も瞬時に実行し、感覚的な検索に対応できるデータベースを作成しました。2026年3月現在、10万件超えの原稿情報に対しQR読取数やクーポン利用数も一元化されており、圧倒的な生産性と品質の向上に成功しました。

●ハイブリッド広告の優位性/活用事例/今年度ステージUP

HYBRID 2.0

サービスを知る顕在層にはWEBでスマホから、サービスを知らない潜在層には各戸配布で紙からと、両方向からユーザーに気付きを与え、広告認知力を最大化するHYBRID広告。今年度は特に地域行政キャンペーンでの活躍が目立ち、アクション率が驚異の6.5%を記録する例も出現。49期はSNS/GoogleMAP/LP/予約機能等あらゆるWEB露出を取込む2.0ver.へとステージを上げます。



長浜市LINEデジタルクーポン「ながはま割」告知
(ぼてじょ倶楽部2025年11月号掲載)

QR読取回数(30日)

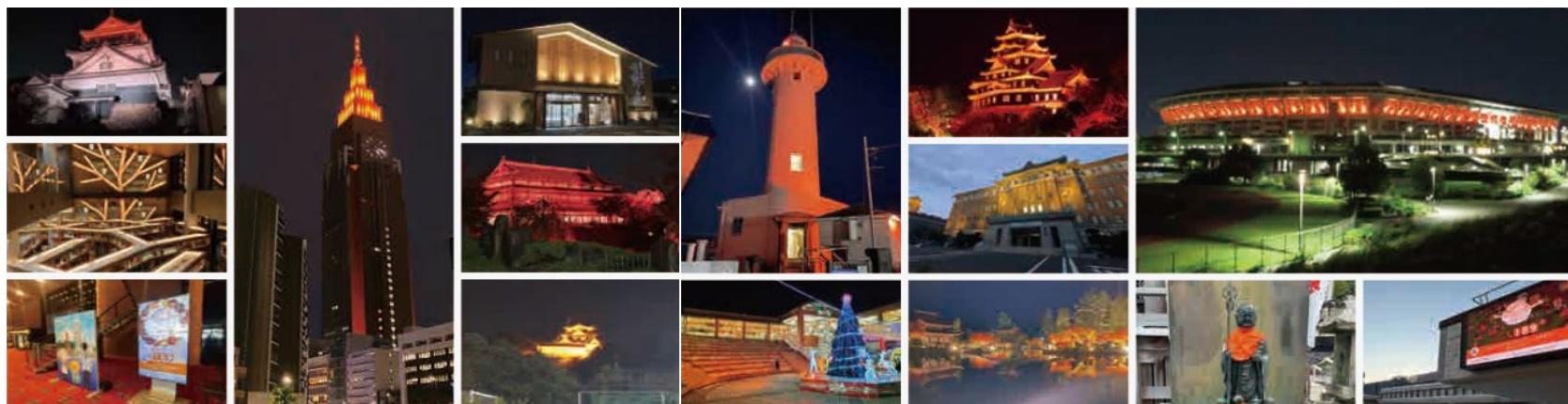
3,706回

アクション率

発行部数(56,900部)対比

6.5%

● 『#にっぽんオレンジシンボル運動』で児童虐待をゼロに



中広グループ+VC(ボランタリーチェーン)において「地域から児童虐待をゼロにする」を合言葉にスタートした『#にっぽんオレンジシンボル運動』。児童虐待防止月間である11月に、1千万部以上発行する地域みっちゃく生活情報誌®の全国各編集室拠点がはたらきかけ、地元のシンボルや地域企業の外観を運動イメージカラー“オレンジ”に染めようという取り組みです。今年度は文部科学省とこども家庭庁の後援もいただき、賛同スポット・企業は過去最高となる1,500件に及びました。児童虐待に悩む子供から親、さらにはまだ子供のいない若い世代に対しても、オレンジに染まった景色を入口として『189番』の存在を持続的に啓発します。

2026年3月期の業績(連結) ※決算短信添付資料3.(2)連結損益計算書より

	前年度実績 2025年3月期		当年度実績 2026年3月期			当初業績予想 (‘25/5/9発表)
	実績	(売上比)	実績	(売上比)	前期比	
売上高	11,332		12,153		+7.2%	13,200
売上総利益	5,035	(44.4%)	5,768	(47.5%)	+14.5%	—
(販売費及び 一般管理費)	4,725	(41.7%)	5,381	(44.3%)	+13.9%	—
営業利益	309	(2.7%)	386	(3.2%)	+24.9%	400
経常利益	322	(2.8%)	401	(3.3%)	+24.4%	410
当期純利益	163	(1.4%)	188	(1.5%)	15.0%	240

単位：百万円/切捨

株主還元 [2025年度（2026年3月期）は12円配当を継続]

●基本方針

必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を基本政策とする。

●配当金実施の推移

	FY2022 ('23/3期)	FY2023 ('24/3期)	FY2024 ('25/3期)	FY2025 ('26/3期)	FY2026 ('27/3期) (予想)
1株あたり配当金	10円	12円	12円	12円	14円
配当性向	80.0%	42.3%	49.8%	43.3%	31.7%

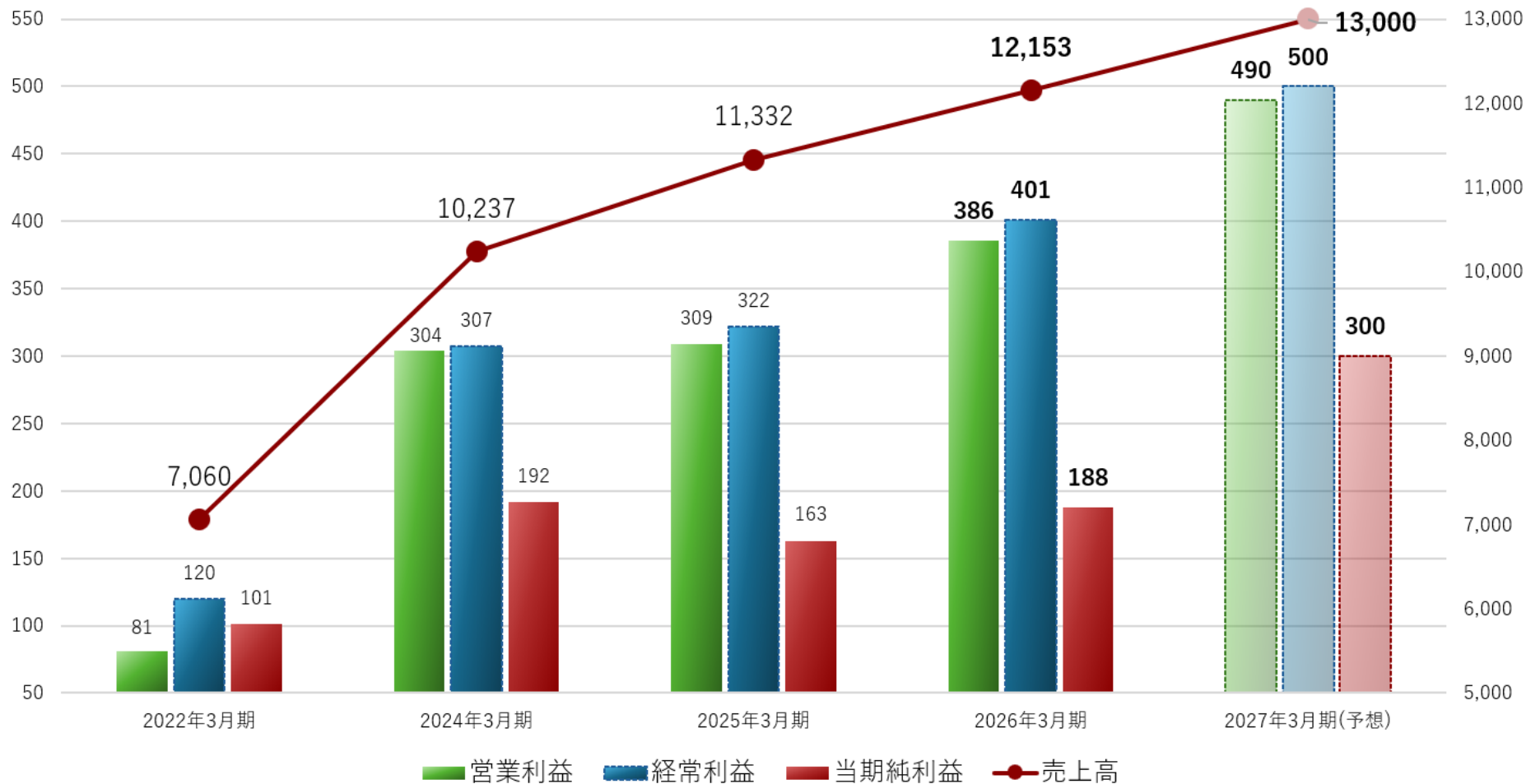
2026年度（2027年3月期）は14円の配当予想

●株主優待制度

毎期3月末を基準に、1単元以上を6ヶ月(9月末から3月末まで)以上継続保有
いただいている株主様を対象に、一律1,000円のクオカードを贈呈。(6月初め頃送付予定)

● 2027年3月期は**連結売上高130億円、経常利益5億円**を予想

業績の推移及び今後の見通し(単位：百万円)



本資料の利用・取り扱いにかかる「重要な留意点」

- 本資料は、株式会社中広（以下 当社）が国内の法令等に基づき公表した資料を、投資家の皆様にご理解いただくため、当社が作成したものです。
いかなる目的であれ、本資料の全部若しくは一部を、無断で複製、複製又は転送等を行わないようお願い致します。
- 本資料に記載の内容は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいておりますが、数字の処理や語句について一部不正確若しくは言い換え等を行っているなど、本資料の正確性について当社は保証いたしません。
また、本資料は予告なしに変更する可能性があります。同時に本資料の更新について義務を負うものではありません。

<将来の予想・見通しについて>

- 将来の予想・見通しに関する記述は、期待されている結果に重大な影響を与えうるリスクや不確実性を伴い、一定の重要な前提に基づいております。
多くの要因により実際の結果は、将来に関する記述における前提および予想・見通しと著しく異なることがあります。
- 本資料の利用にあたり、現時点での予想・見通しに過度に依存せず、社会情勢等の外部要因や内部要因にかかる変化や変更及び各種リスクにつき十分な留意をお願い致します。